

花ごよみ

2023年 249号
12月15日

発行：公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

暖冬の影響でしょうか、今回の「花ごよみ」は、いつもより遅い紅葉や例年にない植物のラインアップとなっています。

1

新年は昇龍が如く！



フジ (幹)

新年の「辰年」に因んだ植物の紹介です。全国には“臥龍（がりゅう）の藤”や“九竜の藤”などのように、幹の形から龍（竜）に例えられることの多い「フジ」があります。当園のフジも樹形・幹肌ともに龍そのもの。本園の東屋を挟んで二本の古木と一本の若いフジが、あたかも親子龍のように存在感を示しています。

4



イチヨウ

5



ツバキ (乙女椿)

6



イソギク

7



ドウダンツツジ

2

正月の縁起もの



マンリョウ

センリョウ（千両）と共に正月飾りに用いられるのが、このマンリョウ（万両）。違いは、赤い実を葉の上につけるのがセンリョウ、下につけるのがマンリョウです。

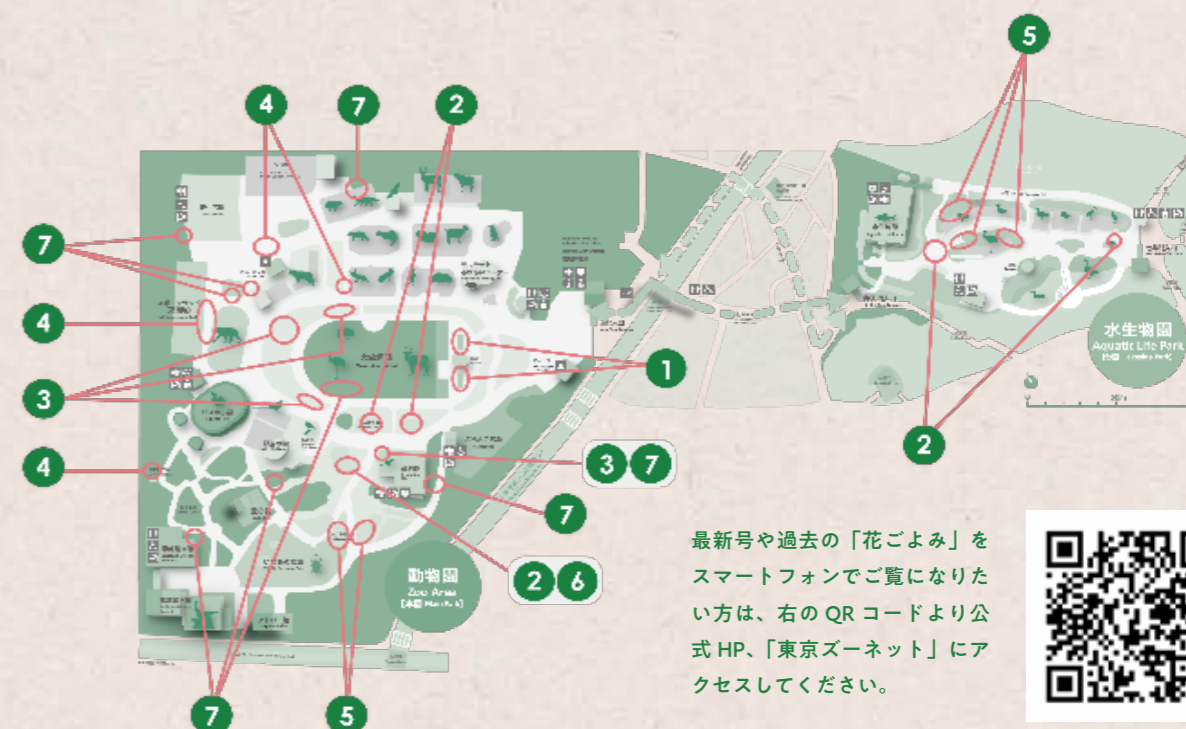
3

お節料理にも活躍



コクチナシ

秋になると実が橙黄色に色づきます。この実は黄色の色素をふくみ、古来より栗きんとんやたくあんなどの料理の色づけに使われてきました。



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ズーネット」にアクセスしてください。

